

Newsletter

—学会会報—

The Japanese Society for Curriculum Studies

発行：日本カリキュラム学会事務局本部

〈目 次〉

- 〈新代表理事挨拶〉
- 〈前代表理事挨拶〉
- 〈理事会報告〉
- 〈新理事会報告〉
- 〈総会報告〉
 - I 第 24 回大会年度(2013 年度)決算報告
 - II 第 25 回大会年度(2014 年度)活動方針
 - III 新体制について
 - IV 第 26 回(2015 年)大会開催校について
- 〈第 25 回大会報告〉
- 〈新役員〉
- 〈学会誌第 24 号論文原稿募集〉
- 〈事務局からのお知らせ〉

— 〈 新代表理事挨拶 〉 —

去る 6 月 28 日理事会において、代表理事に選出されました長尾彰夫でございます。このところ大学の管理運営業務に忙殺されており、学会とも疎遠になりがちとなっております。と、なんということか、といささかたじろいではおります。が、任期となります今後 3 年間の課題と考えておりますことを簡単に述べ、ご挨拶とさせていただきます。

本学会は発足以来すでに四半世紀となりますが、発足当時からの課題は、本学会の独自で固有の研究対象と方法論をいかに確立していくかにあります。教育学関係学会が数多くあるなかで、この課題は本学会のレゾン・デートルにかかわるものでありますが、大会のプログラムや紀要編集の創意工夫のなかで引き続きこの課題は追求されていかなければならないと考えております。

上記の課題は、いわば「ミッションの再定義」にかかわる課題ともいえますが、今ひとつ、それこそ「中期目標」「年度計画」にかかわっての課題があるかと思われま。それは上記課題をより具体的に追求していくための取組やプロジェクトの設定ということです。前代表の下では 2001 年に本学会が刊行した『現代カリキュラム事典』の改訂が言及されました。この作業をどうするのかを含めて、学会独自の取組やプロジェクトがありうるのか、あるとすればそれをどうするのかについて、早急にインテンシブな検討をすべきだと考え

ております。

これらの課題を理事会、各種委員会等の組織の機能の強化充実により追求、実行していければということではありますが、いずれにせよ会員の皆様のご理解と御協力が欠かせません。その点でも宜しくお願い申し上げますということで一言の御挨拶といたします。

(プール学院大学・長尾彰夫)

—— 〈 前代表理事挨拶 〉 ——

6年にわたる代表理事を退任するにあたり、これまで皆様にご協力いただきましたこと感謝申し上げます。学会運営に不慣れなため、いろいろご心配をおかけしましたが、会費値上げと事務の外部委託に漕ぎ着け、なんとか軌道に乗せることができました。これもひとえに理事・常任理事そして各種委員長を中心とした皆様のご支援によるものと心から感謝しております。

最後に、心残りの課題を列挙しておきますと、(1) 会費値上げをした分だけ、大会参加費や交流会費を下げるなど会員へのサービスを高めること、(2) カリキュラム研究において、実際のなカリキュラムの編成など実践の側からの問題提起をより一層重視すること、

(3) 理事会に実践家を代表する理事5名程度の枠を設定することが望ましいこと(ただし理事定員は増加しない)、(4) 各種委員会の活動内容の見直しと活性化が必要であること、そして(5) 30周年記念事業に向けて、新しい時代をリードする企画がほしいこと等です。今後は、長尾代表理事を中心に、ますます学会が発展されるよう祈念いたします。

末筆ながら、事務局運営では、前期3年は清水禎文・足立佳菜・鈴木学の3氏に、後期3年は富士原紀絵・根津朋実の両会員に事務局長・幹事を担っていただき、本当にご苦勞をおかけしました。この場を借りて心からお礼申し上げます。

(早稲田大学・水原克敏)

—— 〈 理事会報告 〉 ——

[2014年6月27日(金) 17:00~18:15 (於) 阪急ターミナルスクエア17階いちょうの間]

定例理事会が6月27日(金)17時から18時15分まで、阪急ターミナルスクエア17階いちょうの間にて開催されました。理事15名、事務局から2名が参加しました。水原代表理事、および大会校関西大学の安藤理事からの挨拶に続き、以下の議事を審議し決定しました。

I. 審議事項

1. 富士原事務局長より資料「第25回大会総会 議事内容(案)」が提案された。審

議を経て一部修正の上承認され、総会に諮ることとなった。

2. 次期大会開催校について

代表理事より第26回大会の大会開催校は昭和女子大学に内諾を得ているとの報告がなされた。開催校の押谷由夫会員からのメッセージが代表理事により代読された。総会の議を経て決定する。

II. 報告事項

1. 各種委員会報告

(1) 紀要編集委員会（八尾坂委員長）

『カリキュラム研究』第23号について、資料に基づき編集経過が説明された。投稿受理14編、掲載4編で、既に発送を終えているとの報告がなされた。

(2) 国際交流委員会（磯田委員長、浅沼理事）

磯田委員長より海外カリキュラム研究情報、および課題研究IVについて経過報告があった。浅沼理事より資料にもとづき、国際カリキュラム学会（ウィリアム・パイナー会長、IAACS、2015年5月26-29日、カナダ・オタワ大学）の紹介、およびホームページでの広報（リンク）について依頼があった。

(3) 研究委員会（西岡理事、澤田理事）

活動報告、および課題研究の一覧が資料として配布され、これにもとづき報告がなされた。委員会体制の発足時期、大会に向けての準備、「ナンバリング」の維持、研究集会の成果と課題、委員会の予算増の必要性などが報告された。課題研究の成果を著書等で公刊する方途について、引き続き次期研究委員会で検討を要する旨、報告された。今回の課題研究の資料から試行的に配布を検討することとなった。

(4) 研究奨励賞審査委員会（八尾坂委員長）

審査経過報告にもとづき、遠座知恵会員の図書『近代日本におけるプロジェクト・メソッドの受容』（2013）風間書房に決定したとの報告がなされた。

2. 代表理事・事務局報告

(1) 会員現況報告・寄贈図書の報告を行った。

(2) 会計監査について

6月22日の監査において、各種委員会の予算の執行状況について指摘がなされた旨、事務局長より報告された。

(3) その他

次回理事会 11月上旬(日程未定)開催予定。

—— 〈新理事会報告〉 ——

[2014年6月28日(土) 12:30~13:00 (於) 関西大学1号館3階]

新理事会が6月28日(土)12時30分から13時まで、関西大学1号館3階で開催された。議長選出、選挙管理委員会報告に続いて、下記の議題を審議・決定した。

I. 代表理事の選出について

代表理事選挙の開票結果に基づき、長尾彰夫理事(プール学院大学)が選出され、承認された。推薦理事、事務局長、事務局体制、および各種委員会委員長については、新代表理事のもとで今後検討をすることとなった。

—— 〈総会報告〉 ——

2014年6月29日(日)、12時20分から13時30分まで、関西大学5号館E棟402において、安藤輝次理事(関西大学)、久野弘幸会員(名古屋大学)を議長団として、総会が開催された。これにおいて、6月27日(金)の理事会で承認された議案が、すべて承認された。

I. 第24回大会年度(2013年度)活動報告

(1) 一般活動報告

①現況概要(2014年6月25日現在)

会員総数 696名 (一般会員 603名、学生会員 85名、団体会員 8件)

*うち、会員資格停止者 36名、連絡先不明 4名を含む

会費納入状況 2013年度分の納入率 87.9%(昨年度 95.5%、一昨年度 85.4%)

②第24回大会報告 参加者約150名。会報第62号にて既報。

③学会誌『カリキュラム研究』第23号発行

④会報第61、62、63号発行

⑤学会研究奨励賞選考結果

⑥会員勧誘の結果(2013年度内)

新入会員 18名(参考 昨年度 42名、一昨年度 26名)

⑦研究集会の開催

⑧その他

決算報告（2013年4月1日～2014年3月31日）

収入の部

項目	予算額（円）	決算額（円）
学会年会費	5,062,500	5,220,000
入会金	60,000	72,000
学会誌代・雑収入・利子等	30,000	37,585
寄付	0	0
前年度繰越金	2,473,258	2,473,258
合計	7,625,758	7,802,843

支出の部

項目	予算額（円）	決算額（円）
第24回大会経費	650,000	650,000
第23号紀要刊行費	550,000	324,972
学会研究奨励賞費	0	0
会合費（含む交通費）	900,000	558,020
事務局経費	450,000	60,023
事務局外部委託費	1,200,000	1,073,324
ホームページ委託運用費	450,000	315,000
理事選挙・代表理事選挙準備費	10,000	14,168
財）日本学術協力財団賛助会費	50,000	50,000
教育関連学会連絡協議会会費	10,000	10,000
各種委員会経費		
紀要編集委員会	300,000	155,110
広報委員会	200,000	40,410
国際交流委員会	200,000	41,620
研究委員会	200,000	67,582
学会奨励賞審査委員会	150,000	0
カリキュラム事典編集準備委員会	200,000	0
(小計)	1,250,000	304,722
予備費	2,105,758	0
次年度繰越金	0	4,442,614
合計	7,625,758	7,802,843

II. 新体制について

理事選挙結果報告と代表理事選挙結果報告がなされた。新役員の詳細は、後に掲載する。その他、会計監査に関して、吉富芳正会員（明星大学）は留任、桐谷正信会員の後任には関根明伸会員（国士舘大学）が選出された。各種委員会の構成は11月の定例理事会後に報告する予定。

Ⅲ. 第25回大会年度（2014年度）活動方針

(1) 一般方針

- ①年次大会（第25回大会）の実施
- ②第26回大会の準備
- ③学会誌『カリキュラム研究』第24号発行
- ④学会研究奨励賞
- ⑤研究集会の開催
- ⑥会報、その他の広報活動
- ⑦会員勧誘
- ⑧その他

(2) 第25回大会年度予算（2014年4月1日～2015年3月31日）

収入の部

項目	予算額（円）	備考
学会年会費	4,794,100	会費納入率90%で積算
入会金	40,000	20名見込み
学会誌代・雑収入・利子等	30,000	
寄付	0	
前年度繰越金	4,442,614	
合計	9,306,714	

支出の部

項目	予算額（円）	
第25回大会補助費	650,000	執行済
第23号紀要発送費	70,000	
第24号紀要刊行費	550,000	
学会研究奨励賞費	50,000	執行済
会合費（含む交通費）	900,000	
事務局経費	300,000	
事務局外部委託費	1,200,000	
ホームページ運用費	130,000	
理事選挙・代表理事選挙費	300,000	
財) 日本学術協力財団賛助会費	50,000	執行済

教育関連学会連絡協議会会費	10,000	執行済
各種委員会経費		
紀要編集委員会	300,000	
広報委員会	200,000	
国際交流委員会	200,000	
研究委員会	200,000	
学会奨励賞審査委員会	150,000	
(小計)	1,050,000	
予備費	200,000	
次年度繰越金	3,846,714	
合計	9,306,714	

IV. 第26回(2015年)大会開催校について

押谷由夫会員を中心として、昭和女子大学にて開催されることが報告された。

*総会終了後、遠座知恵会員の研究奨励賞の授賞式が執り行われました。

—— 〈 第25回大会報告 〉 ——

日本カリキュラム学会第25回大会は、6月27日から29日にわたって大阪府吹田市にある関西大学千里山キャンパスの文学部で開催されました。参加者等は、北海道から沖縄まで233名、自由研究発表も19分科会、59件の発表があり、大変盛況な大会となりました。

今回の大会の大きな特色は、安倍内閣による矢継ぎ早の教育政策の方向付け・実質化という切迫した状況を受けて、従来の課題研究ⅠとⅡのコーディネーター(安彦忠彦・澤田稔・天笠茂)が協力して「現代日本の教育課程政策における政治・行政・経営をめぐる諸問題」と題する合同課題研究を実施したことです。発表者は、天笠茂・長尾彰夫両会員だけでなく非会員である文部科学省初等教育局長の前川喜平、日本大学の広田照幸の両氏もお迎えし、200名弱の出席者とともに活発な議論が展開されました。

また、課題研究Ⅲでは、佐藤真・西岡加名恵コーディネーターにより「パフォーマンス評価の理論的根拠と実践的可能性」と題して3名の発表者、課題研究Ⅳでは、磯田文雄・近藤孝弘コーディネーターによる「諸外国における道德教育の動向」をテーマに4名の発表者による発表・提案がなされ、それぞれのテーマに対する議論が深められました。

大会校である関西大学は、私立大学のため、6月28日の土曜日にも授業日である関係上、発表の場となった教室の配置も限定的にならざるを得なくなり、参加者の皆様は、戸惑うこともあったかもしれません。しかし、大きな問題が生じることもなく、学会事務局の先生方、大会実行委員の方々、手伝ってくれた60名を超える学生(大多数は学部1～3年生)の皆さん、大学事務方の協力のお陰で大会を何とか無事終えることができました。心より御礼申し上げます。
(関西大学・安藤輝次)

—— 〈 新役員 〉 ——

任期：2014年6月第25回大会（関西大学）より2017年第28回大会総会まで

代表理事：長尾彰夫（プール学院大学）

理事（31名）：（五十音順、敬称略） ※は前理事から再任、○は推薦による理事

- | | |
|-----------------|------------------|
| ※浅沼 茂（東京学芸大学） | 田中統治（筑波大学） |
| ※天笠 茂（千葉大学） | ○田村知子（岐阜大学） |
| ※○安藤輝次（関西大学） | ※長尾彰夫（プール学院大学） |
| ※池野範男（広島大学） | ※中野和光（美作大学） |
| ※磯田文雄（名古屋大学） | 根津朋実（筑波大学） |
| ○石田有記（市川市教育委員会） | ※西岡加名恵（京都大学） |
| ※○大野栄三（北海道大学） | ※橋本美保（東京学芸大学） |
| ※片上宗二（安田女子大学） | ○藤川聡（北海道教育大学） |
| ※工藤文三（帝塚山学院大学） | 富士原紀絵（お茶の水女子大学） |
| ※倉本哲男（愛知教育大学） | ※松下佳代（京都大学） |
| ※小泉祥一（東北大学） | ※的場正美（名古屋大学） |
| ※子安 潤（愛知教育大学） | ※水原克敏（東北大学） |
| ※近藤孝弘（早稲田大学） | ※村川雅弘（鳴門教育大学） |
| ※佐藤 学（学習院大学） | ※八尾坂修（九州大学） |
| ※澤田 稔（上智大学） | ○香川大学教育学部附属高松小学校 |
| ※田中耕治（京都大学） | |

監査：吉富芳正（明星大学）【再任】、関根明伸（国士舘大学）

事務局体制

事務局長：松下佳代（京都大学）、**幹事**：田村知子（岐阜大学）、富士原紀絵（お茶の水女子大学）【再任】

—— 〈 学会誌第 24 号論文原稿募集 〉 ——

紀要 24 号の論文投稿につきまして、送付先が下記に変更になります。

〒305-0006 茨城県つくば市天王台 1-1-1 筑波大学人間系（教育）気付
日本カリキュラム学会 紀要編集委員会事務局

投稿締め切りは 9 月 30 日（当日消印有効） です。投稿要領、投稿に関する諸注意は紀要 23 号 [投稿にあたっての注意] と [投稿要領]（ホームページに掲載）をご覧ください。
会員皆様の積極的なご投稿をお待ちしております。

—— 〈 事務局からのお知らせ 〉 ——

I. 寄贈図書一覧（2014 年 3 月 8 日～2014 年 8 月 30 日到着分）

	書名	著者	出版社	奥付日付
1	オーストラリアのグローバル教育の理論と実践	木村裕	東信堂	2014/2/26
2	はらっぱ教室－峰地光重の生活綴方	豊田ひさき	風媒社	2014/3/20
3	イタリアの歴史教育理論	徳永俊太	法律文化社	2014/3/30
4	フリッツ・イエーデの音楽教育	小山英恵	京都大学学術出版会	2014/3/31
5	「一人も見捨てへん」教育	志水宏吉編著	東洋館出版社	2014/7/24
6	近代日本算術教育史	桜井恵子	学術出版会	2014/7/25

II. 学会ホームページ URL 変更につきまして

会員の皆様には、前ニューズレターで新ホームページのご案内をさせて頂いたばかりですが、この度、内容の一層の充実をはかることを目的に、新たなホームページ運営の契約をいたしました。それに伴いまして、URL が以下に変更になります。

(現) <http://homepage3.nifty.com/jscs/>

(新) <http://jscs.b.1a9.jp/>

お手数をおかけいたしますが、新しい URL のご登録をお願いいたします。

III. 平成 26 年度（2014 年度）と平成 25 年度（2013 年度）分会費納入のお願い

平成 26 年度分の会費の納入をよろしくをお願いいたします。

また、平成 25 年度分の年会費が未納の方は、納入をお願いします。3 月 5 日時点での **2013**

年度会費の納入率は88.8%です。納入促進に会員のみなさまのご協力をよろしくお願い申し上げます。年会費を滞納しますと、学会誌が送付されなくなりますと同時に、大会での発表資格・学会誌への投稿資格を失いますので、ご注意願います。

会費納入状況につき、ご不明の点がございましたら、些細な点でも結構ですので、ご遠慮無く（株）国際文献社内・日本カリキュラム学会会員窓口までお問い合わせください。よろしくお願い致します。（年会費：一般 8,000円、学生 5,000円、団体 10,000円）

IV. 事務局本部につきまして

お茶の水女子大学に設置しておりました事務局本部は、現在、京都大学に移転準備を進めております。

なお、事務局の外部委託先に変更はございません。入会、退会、住所・所属等変更のご連絡、年会費納入、各種発送物等につきましては、事務局本部（大学）ではなく、下記、日本カリキュラム学会会員窓口にお問い合わせ下さいませよう、お願いいたします。

【 入・退会、年会費納入、会員 web 管理、会報発送等各種問い合わせ先 】

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター

日本カリキュラム学会会員窓口

TEL：03-5389-6213

FAX：03-3368-2822

E-mail:jscs-post@bunken.co.jp

【 上記以外の学会運営に関する問い合わせ先 】

〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町

京都大学高等教育研究開発推進センター 松下佳代気付

日本カリキュラム学会事務局本部

E-mail:jscs@nifty.com

【 学会ホームページ 】 *変更になりました

URL：<http://jscs.b.1a9.jp/>